令和元(平成31)年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

			施設番号	5
部	総合政策部	課	文化観光詞	₹

1. 指定概要

	名称	近江八幡市立資料館	建設年	郷土資料館:明治19年(大規模修繕	平成29年)、歴史民俗資料館:江戸時代末期	
	所在地	近江八幡市新町2丁目22 他	利用対象	全市	地域	
施設概要	設置目的	郷土の文化財を収集し、保存し、かつ、展示する等その活用を図ることにより、郷土文化の向上並びに教育及び学術の発展に資するため。				
	規模	敷地面積:郷土資料館 1,259.46㎡ 歴史民俗資料館 436,03㎡ 延べ床面積:郷土資料館 649.11㎡ 歴史民俗資料館 298.16㎡ 各地上2階				
	指定管理 開始年度	平成25年				
指定管理者	名称	株式会社かんでんジョイナス				
指定管理者 所在地 大阪府大阪市北区梅田三丁目3番10号						
5. 資料館の利用者の利便性を向上させるために必要な業務		2. 資料館の維持管理に関する業務	・展示及び調査研	究に関することを除く。		
指定	指定期間 平成31年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月31日 (3年間)					
指定管	章理料			度:21, 120千円 らミュージアムと合算)	令和2年度:21,120千円(見込) (旧西川家住宅・かわらミュージアムと合算)	
利用料	4金制	採用している	選定方式	公募	応募者数 1	

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		目標と具体的な取り組み(計画)	令和元(平成31)年度実績	担当課による検証
	施設の維持管理業務	設 ・毎日の清掃作業 ・施設内の樹木の剪定及び除草等 ・施設の備品の日常管理 (随時) ・施設の備品の日常管理 (随時) ・ 施設の備品の日常管理 (随時) ・ 歴史的建造物、重要文化財を後世に残し伝えていくためにも、施討管 で設備の管理業務 ・ 施設の備品の日常管理 ・ ・ を設備の維持管理については、市の了解を得た上でそれぞれ専門の第 者に委託した。 ・ コスト意識を持ち、複数の業者との相見積もりを実施するととも に 市内業者の優生的な採用にも配慮した		(よかったと評価できる事項) 施設の維持管理業務及び備品の管理業務に ついて概ね適切に遂行されている。 (改善を要した事項と対応)
施設設置の目的達成状況	(サービス向上策)施設の運営業務	[来館者満足度の向上] ・ホスピタリティ溢れるおもてなし対応の徹底 [情報発信、提供の強化] ・職員による簡易解説の実施 ・映像による近江八幡市の紹介。 [外国人観光客対応の強化] ・クラウド通訳サービス(英・中・韓)の導入。 ・受付案内、注意事項などの多言語化 ・展示品の英文説明 [利用者の声の反映について] ・来館者への積極的なコミュニケーション、アンケートの実施(常設・企画展)、団体・旅行会社(担当・ガイド)へのヒアリング・定例ミーティングの実施	で慎里な修理、作業を心かけるるとともに、里要伝統的建造物群保存地区内ということをかんがみ、市担当者と情報共有した維持管理に努めた。 「各種研修の実施」 ・個人情報保護研修 (R1.9) …実際の事例を見ながら、施設に起こり得るトラブルの学習した。 ・他施設見学 (R1.5) …さかい利晶の杜を、休館日を利用して見学し、受付対応、茶道に関して研修を行った。 ・AED講習 (R1.5) …AED設置に伴い、消防署より講師を招いて行った。 ・職員による、簡易な展示解説の実施 ・展示品の英文説明	(よかったと評価できる事項) (改善を要した事項と対応) (課題)
	(提案内容の実施業務)その他の業務	職員のアイデアや市民と作り上げていく事業やイベントを開催。 ・音楽イベント ・雛、端午人形展示 ・季節や話題に合わせた展示会、地域サークル展示 ・地域イベントへの協力(八幡堀まつり)	資料館においては、中庭スペースにて「ニコル」による大正琴ライブを実施(計8回)。 毎年恒例の雛人形・五月人形の展示、竹行灯展や所蔵着物の展示を行った。 コワーキングスペースにて、新町通りの観光客をターゲットに移動 喫茶を実施した(左義長まつり期間中)。	新たな試みを行うことで集客につなげよう

施設設置の目的達成状況	ん 利設	[営業強化] ・共通チケットの販売 ・旅行雑誌、ネットへの掲載 ・バス会社・鉄道会社への営業 [近隣施設、商店、関係機関との連携強化] ・観光物産協会とのさらなる連携と情報共有 ・八幡堀周辺飲食店、物販店等との連携、協力 [学校団体の受入促進] ・学校団体向け見学プランの開発、パンフレットの作成 [SNSの活用] ・インスタグラムやツイッター等のSNSでの画像発信力の強化 ・景観の良さを存分に活かし、写真撮影スポットとしてPR強化 [コワーキングスペースの有効活用] ・地域サークル活動の拠点や作品展示の場としての利用促進	・資料館・旧西川家住宅・かわらミュージアム共通券の推奨。 ・じゃらんnet予約サービスの活用(資料館・旧西川家住宅・かわら ミュージアム(十かわら体験工房)の共通券を販売) 入館者数:14,939人(前年度15,720人)	(よかったと評価できる事項) (改善を要した事項と対応) (課題) 情報発信について、双方で強化が必要である。
-------------	---------	---	--	---

3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

	前年度実績	令和元(平成31)年度実績	(よかったと評価できる事項)
	資料館+旧西川家+かわらミュージアム(合算) 収入合計 39,009,758円 入館料等 14,467,490円 指定管理料 21,120,000円 その他収入 3,367,118円 自主事業収入 55,150円	資料館+旧西川家+かわらミュージアム(合算) 収入合計 36,410,568円 入館料等 13,615,671円 指定管理料 21,120,000円 その他収入 1,548,897円 自主事業収入 126,000円	(改善を要した事項と対応)
収支状況	支出合計 41,057,704円 人件費等 27,711,509円 事務費 8,486,179円 管理費 4,420,869円 自主事業費 439,147円	支出合計 39,669,715円 人件費等 27,238,307円 事務費 7,500,306円 管理費 4,638,618円 自主事業費 292,484円	(課題)

4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	
評価頂いている内容	
苦情・意見等	特に苦情はなかったが、利用者に丁寧な説明を要するケースは多々あり、より丁寧な対応を行う。

6. 指定管理者の自己評価コメント

3館券の発行や、旅行社、エージェントに対してのアプローチはしているものの、入館者の激減傾向に歯止めがかからず、さらに新型コロナウイルス感染拡大 で大きな赤字となった。

旅行会社や鉄道会社などへの営業も検討していたが、今後もコロナウイルスに よる外出自粛による観光客減が考えられるので、広告宣伝など効果的な支出も行 いながら来館者増につなげたい。

7. 所属の総括コメント

3月に新型コロナウイルス感染症の影響がみられたが、入館者数は微減にとどまった。貸館スペースの有効活用な どを含め、関係機関等との緊密な連携のもと、利用者増加への取り組みの推進されたい。

ていく。

5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

展示品の定期的な入れ替えや施設の設置目的に合致した展覧会の企 画実施に対するアドバイスの要望があるため、実施できるよう検討し